

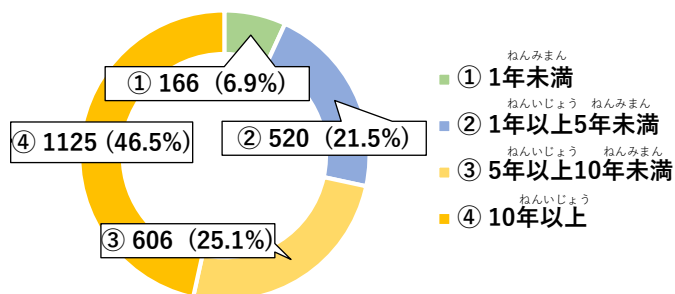
## 2 (3) しょうがいしゃしえんしせつ しせつしょくいん 障害者支援施設 (施設職員)

### えい A-1 げんざい じょうきょう 現在の状況

#### とひ 問1(1) つうさんけいけんねんすう 通算経験年数

\* 通算経験年数は、「④ 10年以上」が46.5%と最も多く、次いで「③ 5年以上10年未満」が25.1%、「② 1年以上5年未満」が21.5%となっています。

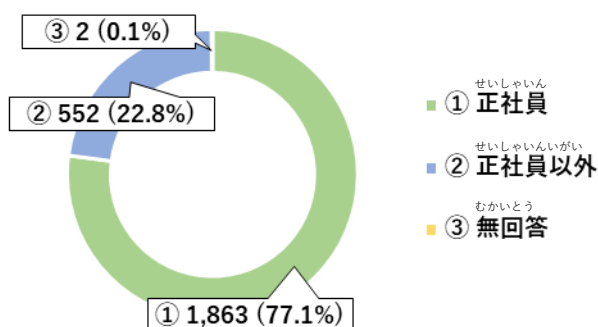
(n=2,417)



#### とひ 問1(2) こようけいたい 雇用形態

\* 雇用形態は、「① 正社員」が77.1%となっており、「② 正社員以外」は22.8%となっています。

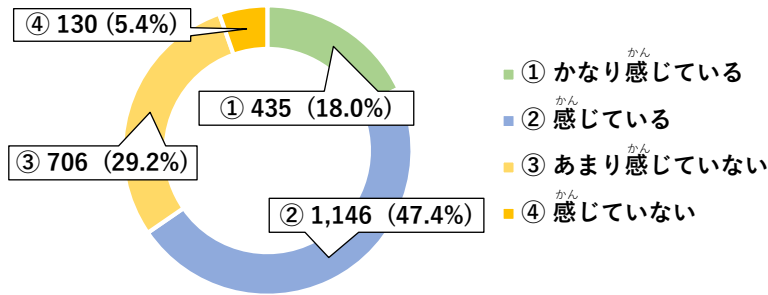
(n=2,417)



問2(1) 業務負担

\* 業務の負担は、「② 感じている」が47.4%で最も多く、次いで「③ あまり感じていない」が29.2%、「① かなり感じている」が18.0%となっています。

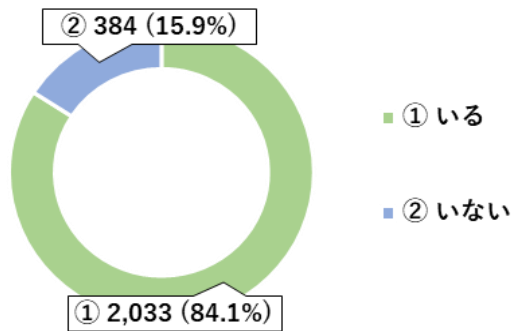
(n=2,417)



問2(2) 相談・適切なアドバイス

\* 相談・適切なアドバイスを受けられる存在は、「① いる」が84.1%となっており、「② いない」の15.9%を大きく上回っています。

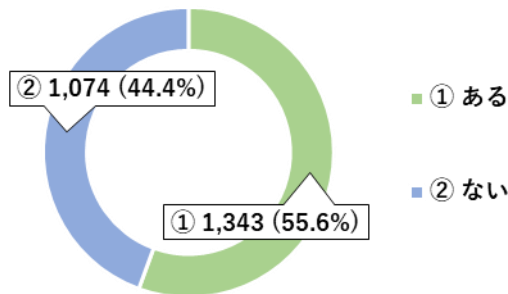
(n=2,417)



**問2(3) クライアントハラスメントの状況**

\* クライアントハラスメントの状況は、「① ある」が55.6%となっており、「② ない」は44.4%となっています。

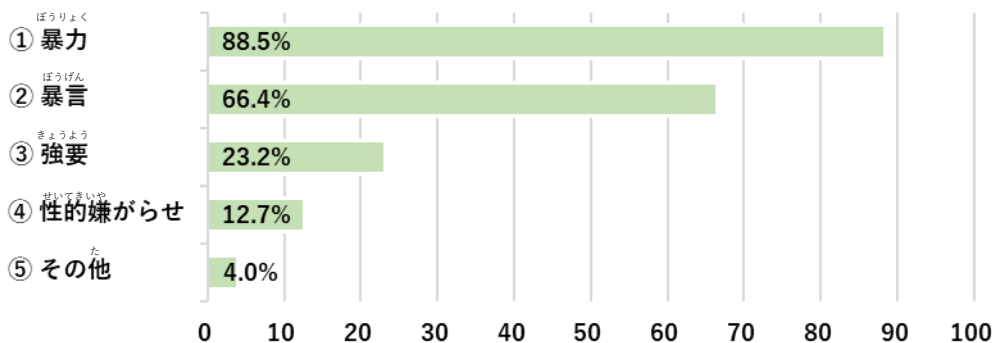
(n=2,417)



**問2(4) クライアントハラスメントの内容【複数回答あり】**

\* クライアントハラスメントの内容は、「① 暴力」が88.5%で最も多く、次いで「② 暴言」が66.4%、「③ 強要」が23.2%となっています。

(n=1,343)



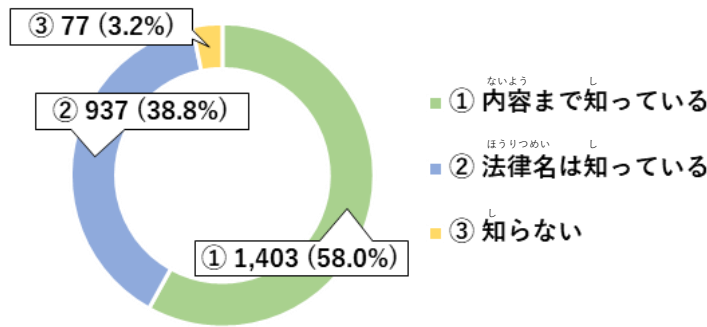
< 「その他」の主な回答 >

メガネや衣服の破損
大声で近づき圧迫される
噛まれる
包丁を持ち出し向かってきた
虚言等で人格を否定された
顔に唾を吐かれた
熱湯をかけられた
場所の移動や着替えなどをお願いした際に無視や拒否を続ける
物損。施設や他利用者の物、共有物品、職員の物を破壊する
便失禁した時に便に触った手で触られた

問3(1) 障害者虐待防止法の認知

\* 障害者虐待防止法の認知は、「① 内容まで知っている」が58.0%で最も多く、「③ 知らない」は3.2%となっています。

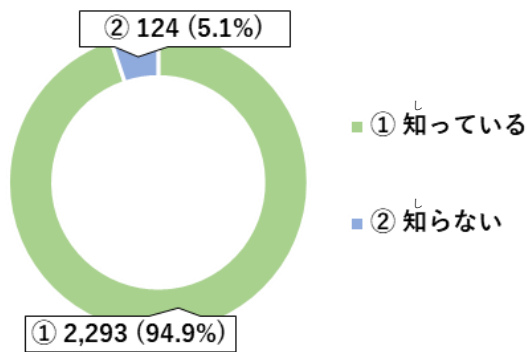
(n=2,417)



問3(2) 通報義務

\* 通報義務は、「① 知っている」が94.9%となっており、「② 知らない」は5.1%となっています。

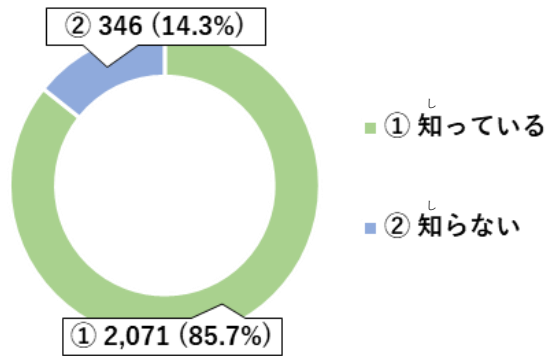
(n=2,417)



問3(3) 通報等による解雇・不利益な取扱い

\* 通報等による解雇・不利益な取扱いを受けないことについては、「①知っている」が85.7%となっており、「②知らない」は14.3%となっています。

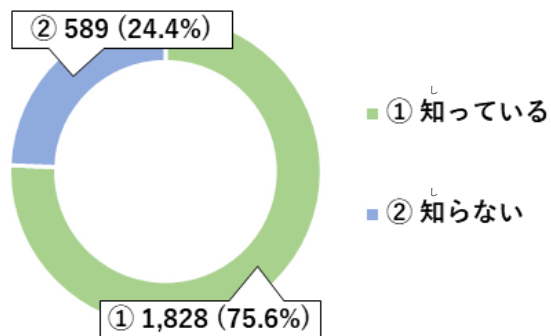
(n=2,417)



問3(4) 通報窓口

\* 通報窓口は、「①知っている」が75.6%となっており、「②知らない」は24.4%となっています。

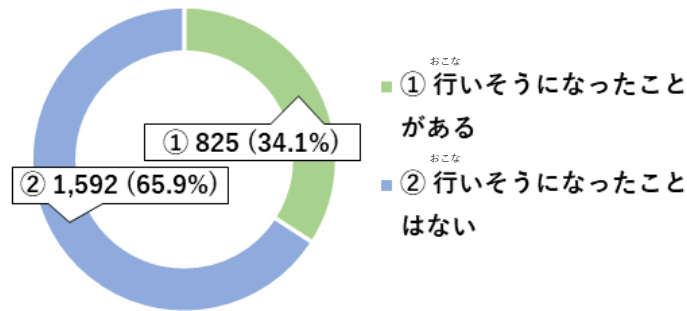
(n=2,417)



## 問4(1) 虐待行為等を行いそうになったことの有無

\* 虐待行為等を行いそうになったことの有無は、「① 行いそうになったことがある」が34.1%となっており、「② 行いそうになったことはない」が65.9%となっています。

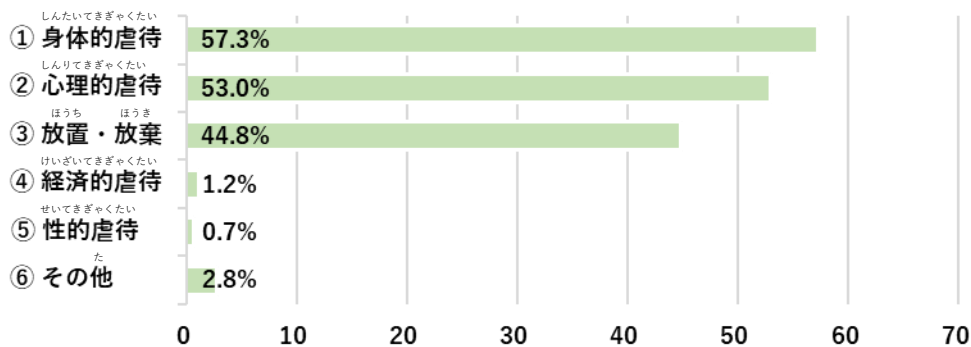
(n=2,417)



## 問4(2)ア 行いそうになった虐待行為等の内容【複数回答あり】

\* 行いそうになった虐待行為等の内容は、「① 身体的虐待」が57.3%で最も多く、次いで「② 心理的虐待」が53.0%、「③ 放置・放棄」が44.8%となっています。

(n=825)



## &lt; 「その他」の主な内容 &gt;

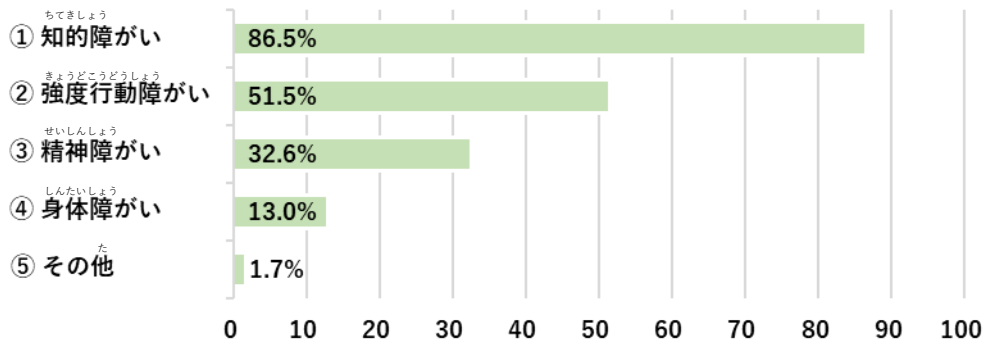
いちじでき かんじょう から いっかつ ととき 一時的な感情から一喝したくなる時があった。
した なまえ や あだ名 で 呼びそうになった。
つよ こゑ で の こゑ かけ や 繰り返される 質問 や 会話 への 返答 を 省略 しそうになった。
ことば の 使い方が こども に対する ように 話しかけ しそうになった。
こども 扱い の ような 言葉 使用 を し しそうになった。
しえん が 重複 した 際 に 待たせる ことが あった。
すこ くちよう きび たいおう を し しそうになった。
た の 利用者 さん や 従業員 が 暴力 等 に あった 時 制止 する 行為 を した。
たぎょう 遂行 中 に、話 を 聞いて あげる ことが 出来 なかった。
たいおう できない こと に関して や 利用者 間 トラブル などの 利用者 さん から の 暴力 行為 や 暴言 などに 注意 と 制止 を 行った。

**問4(2)イ 行いそうになった虐待行為等の対象者の障がい種別【複数回答あり】**

\* 行いそうになった虐待行為等の対象者の障がい種別は、「① 知的障がい」が86.5%で最も多く、次いで「② 強度行動障がい※」が51.5%となっています。

※自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態

(n=825)



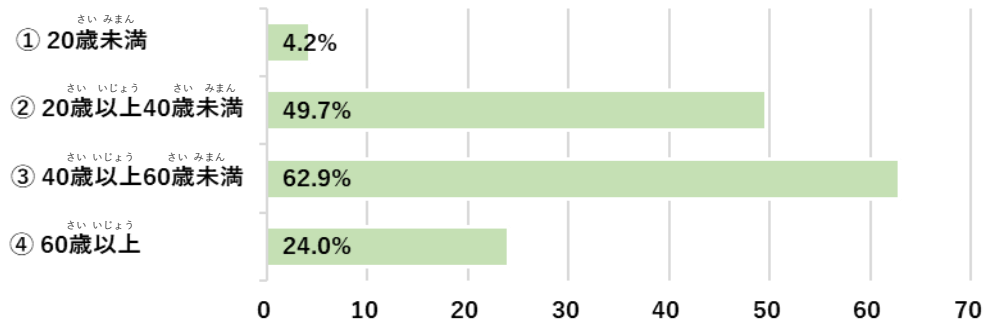
< 「その他」の主な内容 >

発達障がい
認知症
統合失調症

**問4(2)ウ 行いそうになった虐待行為等の対象者の年齢【複数回答あり】**

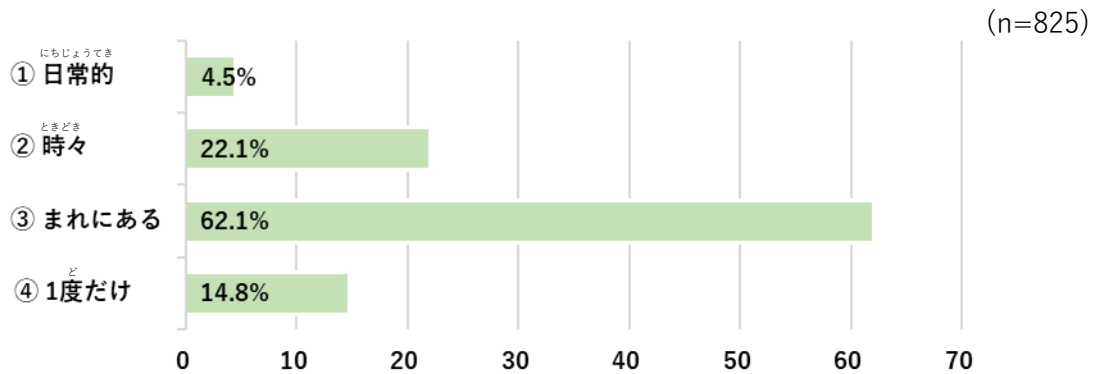
\* 行いそうになった虐待行為等の対象者の年齢は、「③ 40歳以上60歳未満」が62.9%で最も多く、次いで「② 20歳以上40歳未満」が49.7%となっています。

(n=825)



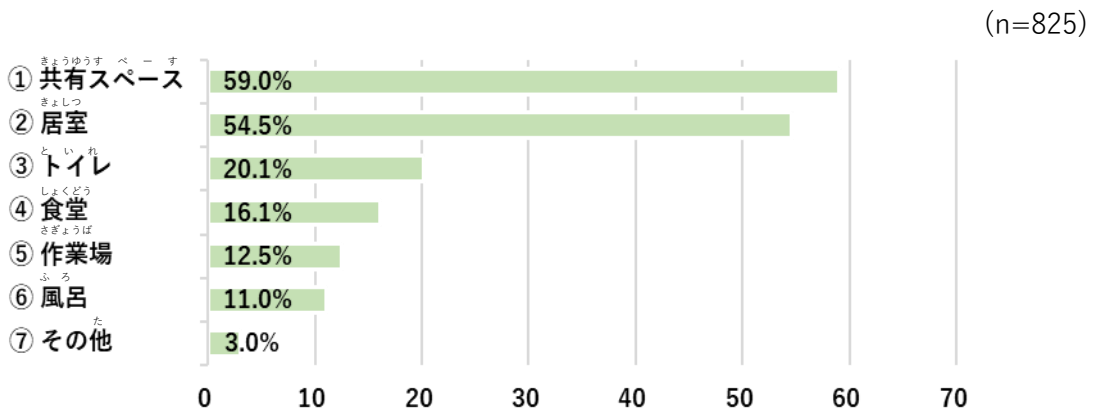
**問4(2)エ 虐待行為等を行いそうになった頻度【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行いそうになった頻度は、「③ まれにある」が62.1%で最も多く、次いで「② 時々」が22.1%、「④ 1度だけ」が14.8%となっています。



**問4(2)オ 虐待行為等を行いそうになった場所【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行いそうになった場所は、「① 共有スペース」が59.0%で最も多く、次いで「② 居室」が54.5%、「③ トイレ」が20.1%となっています。



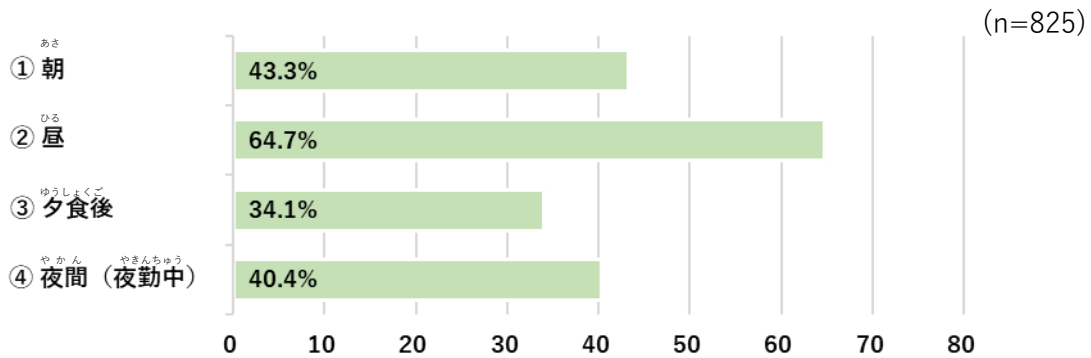
< 「その他」の主な内容 >

屋外
活動場所
洗面所
面談室
廊下
立入禁止の部屋



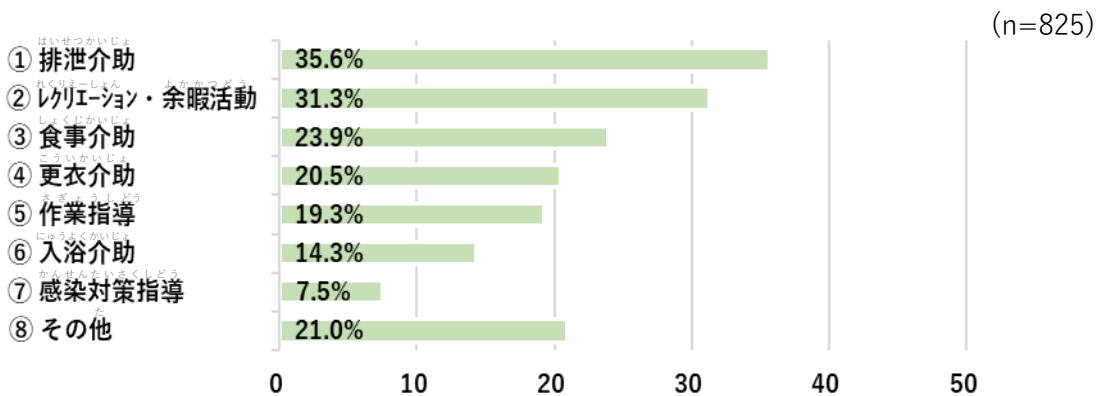
**問4(2)カ 虐待行為等を行いそうになった時間帯【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行いそうになった時間帯は、「② 昼」が64.7%で最も多く、次いで「① 朝」が43.3%、「④ 夜間（夜勤中）」が40.4%となっています。



**問4(2)キ 虐待行為等を行いそうになった場面【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行いそうになった場面は、「① 排泄介助」が35.6%で最も多く、次いで「② レクリエーション・余暇活動」が31.3%となっています。



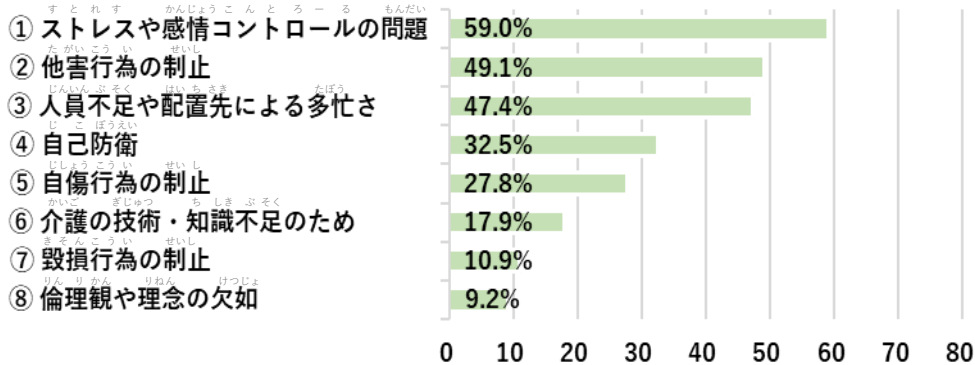
< 「その他」の主な内容 >

歯磨き介助
移動介助
他者介助中
トラブルの仲介
本人から暴力を受けた時
本人からセクハラを受けた時
他の利用者への暴力・暴言があった時
過剰にしつこくされて業務がままならなかった時
夜勤が続いた時
日常生活の中で

問4(2)ケ 虐待行為等を行いそうになったきっかけ・要因【複数回答あり】

\* 虐待行為等を行いそうになったきっかけ・要因は、「① ストレスや感情コントロールの問題」が59.0%で最も多くなっています。

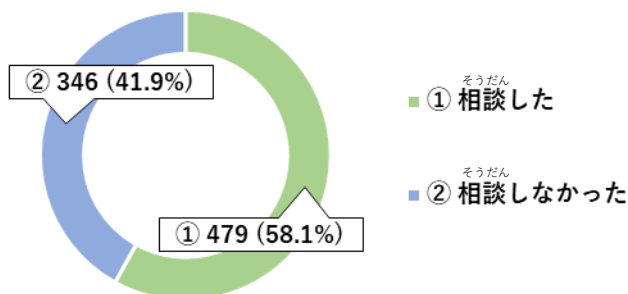
(n=825)



問4(2)ケ 虐待行為等を行いそうになった際の相談の有無

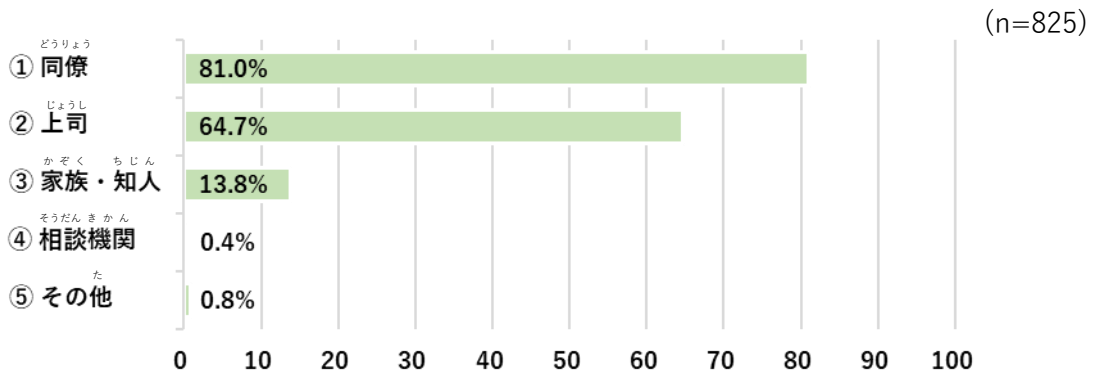
\* 虐待行為等を行いそうになった際の相談の有無は、「① 相談した」が58.1%となっており、「② 相談しなかった」は41.9%となっています。

(n=825)



**問4(2)コ 虐待行為等を行いそうになった際の相談先【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行いそうになった際の相談先は、「① 同僚」が81.0%で最も多く、次いで「② 上司」が64.7%、「③ 家族・知人」が13.8%となっています。



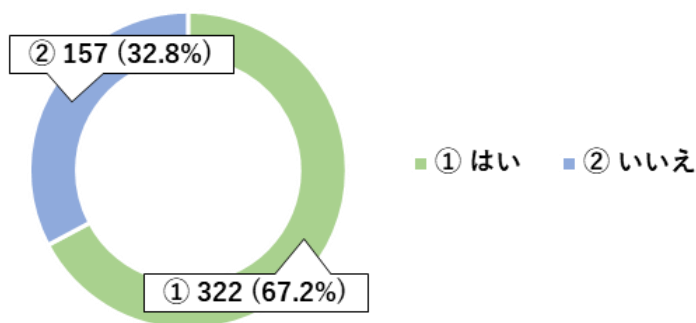
<「その他」の主な内容>

医療機関

**問4(2)サ 虐待行為等を行いそうになった際の相談による改善状況**

\* 虐待行為等を行いそうになった際の相談による改善状況は、「① はい (改善した)」が67.2%となっており、「② いいえ (改善しなかった)」は32.8%となっています。

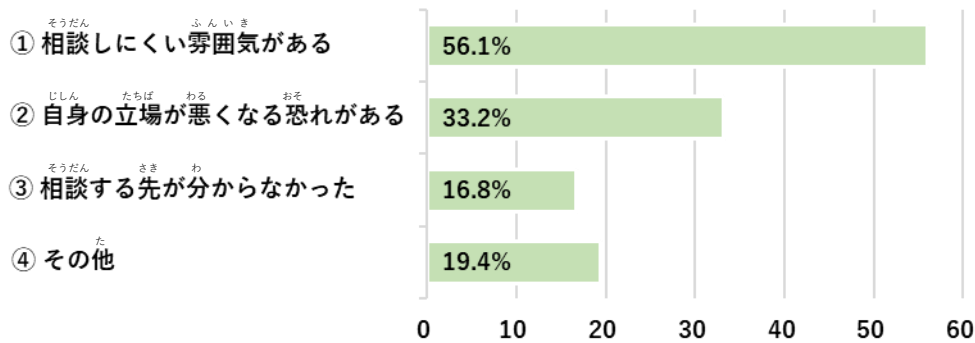
(n=479)



問4(2)シ 虐待行為等を行いそうになった際に相談しなかった理由【複数回答あり】

\* 虐待行為等を行いそうになった際に相談しなかった理由は、「① 相談しにくい雰囲気がある」が56.1%と最も多くなっています。

(n=346)



<「その他」の主な内容>

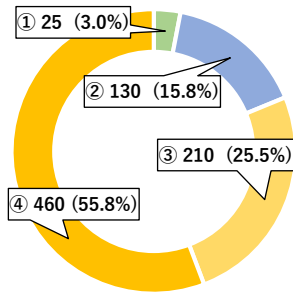
相談しても解決が期待できないため
相談することで業務が増えるため
自己解決できたため
その場で指導を受けたため
相手に謝罪したため
周囲にサポートしてもらえるため
相談できる相手がないため
相談の仕方が分からなかったため
多忙なため、日常的なことであるため
必要性を感じなかったため

ぎゃくたい おこな 虐待を行いそうになったことがあると回答した職員かいとう しょくいん けいこうの傾向について

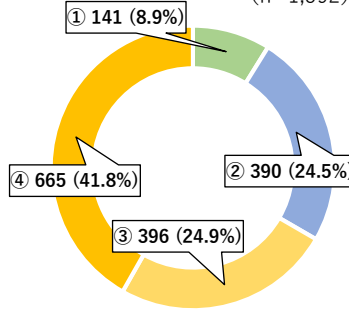
とく 問1(1) つうさんけいけんねんすう 通算経験年数

\* きんむねんすう なが しょくいん ぎゃくたいこういとう おこな 勤務年数が長い職員ほど虐待行為等を行いそうになったことがある傾向にあります。

おこな 行いそうになったことがある (n=825)



おこな 行いそうになったことはない (n=1,592)

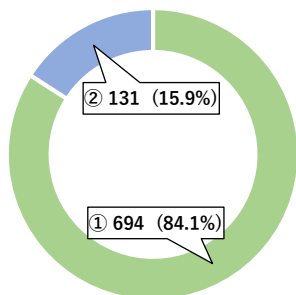


- ① 1年未満
- ② 1年以上5年未満
- ③ 5年以上10年未満
- ④ 10年以上

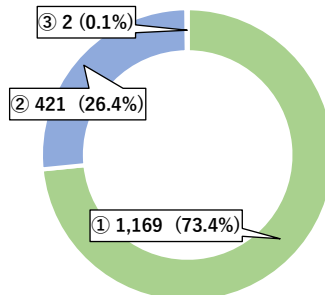
とく 問1(2) こようけいたい 雇用形態

\* せいしゃいん かた ぎゃくたいこういとう おこな 正社員の方が虐待行為等を行いそうになった経験がある傾向にあります。

おこな 行いそうになったことがある (n=825)



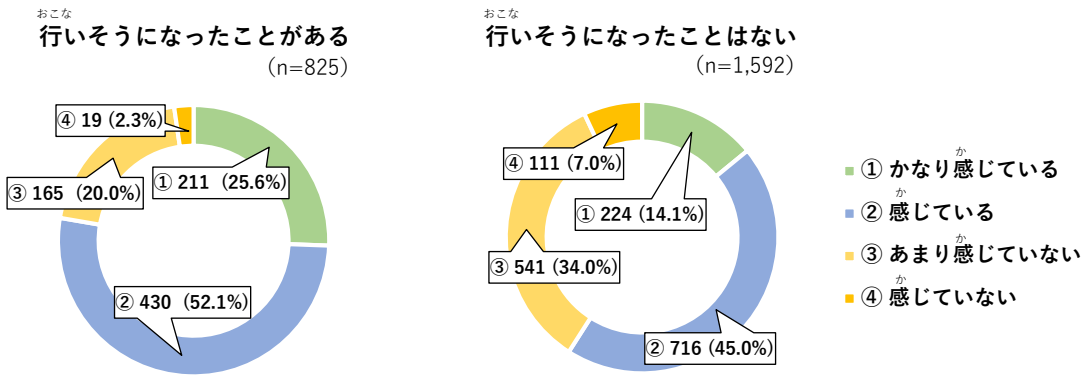
おこな 行いそうになったことはない (n=1,592)



- ① 正社員
- ② 正社員以外
- ③ 無回答

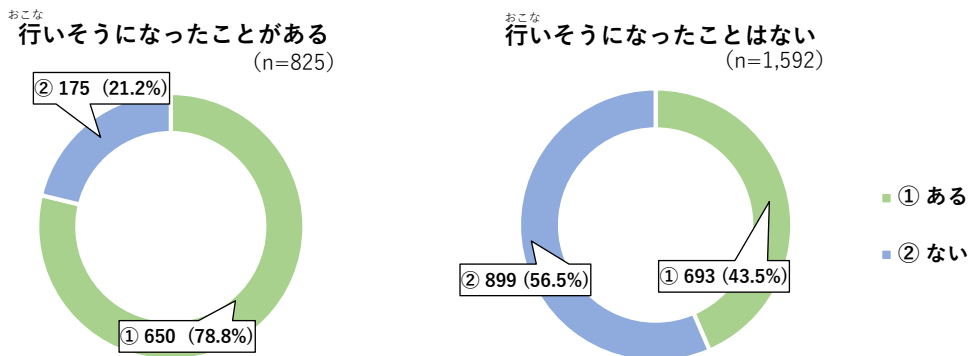
**問2(1) 業務負担**

\* 虐待行為等を行いそうになったことがある職員は業務の負担感が強い傾向にあります。



**問2(3) クライアントハラスメントの状況**

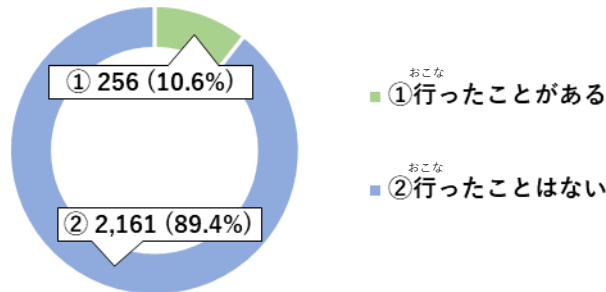
\* 虐待行為等を行いそうになったことがある職員の多くがクライアントハラスメントを受けた経験があると回答している傾向にあります。



**問4(3) 虐待行為等を行ったことの有無**

\* 虐待行為等を行ったことの有無は、「② 行ったことはない」が89.4%となっており、「① 行ったことがある」は10.6%となっています。

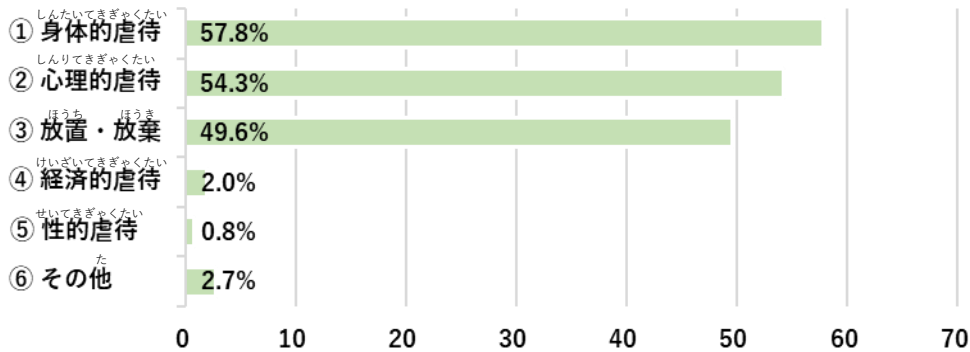
(n=2,417)



**問4(4)ア 行った虐待行為等の内容【複数回答あり】**

\* 行った虐待行為等の内容は、「① 身体的虐待」が57.8%で最も多く、次いで「② 心理的虐待」が54.3%、「③ 放棄・放置」が49.6%となっています。

(n=256)

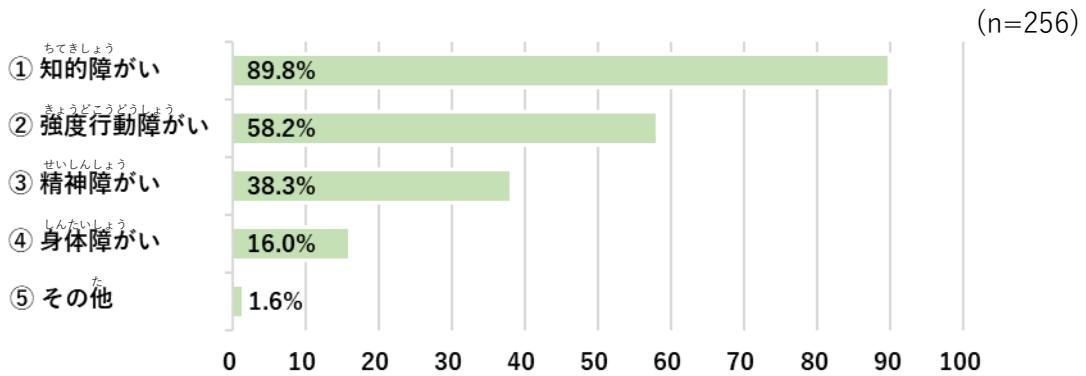


< 「その他」の主な内容 >

自傷及び他害、物損行為の制止のため押さえつけた
愛称で呼んでしまった、呼び捨てにってしまった
「待っててね」という言葉の多用

**問4(4)イ 虐待行為等を受けた方の障がい種別【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を受けた方の障がい種別は、「① 知的障がい」が89.8%で最も多く、次いで「② 強度行動障がい」が58.2%となっています。

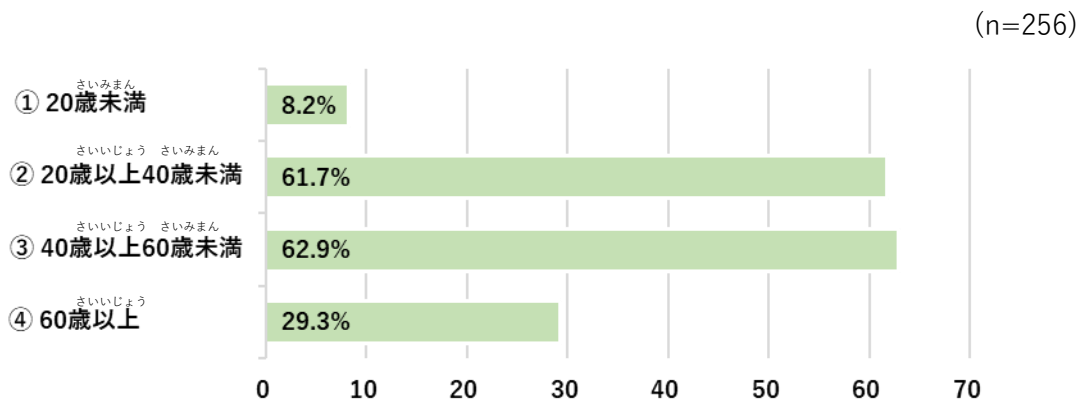


< 「その他」の主な内容 >

睡眠障害
認知症

**問4(4)ウ 虐待行為等を受けた方の年齢【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を受けた方の年齢は、「③ 40歳以上60歳未満」が62.9%で最も多く、次いで「② 20歳以上40歳未満」が61.7%となっています。

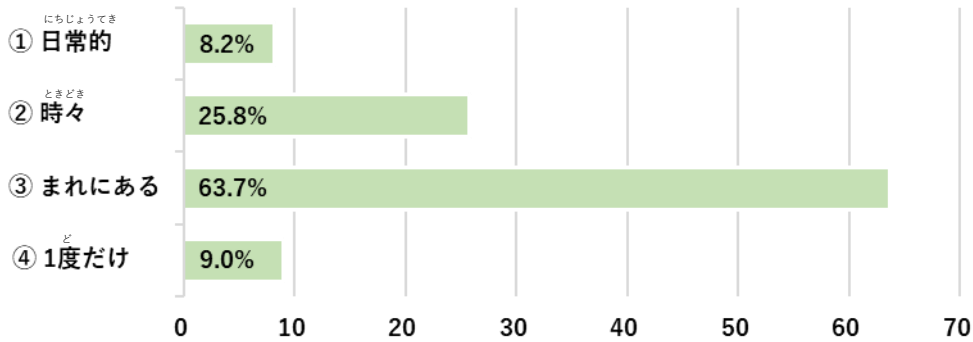




問4(4)エ 虐待行為等を行った頻度【複数回答あり】

\* 虐待行為等を行った頻度は、「③ まれにある」が63.7%で最も多く、次いで「② 時々」が25.8%、「④ 1度だけ」が9.0%となっています。

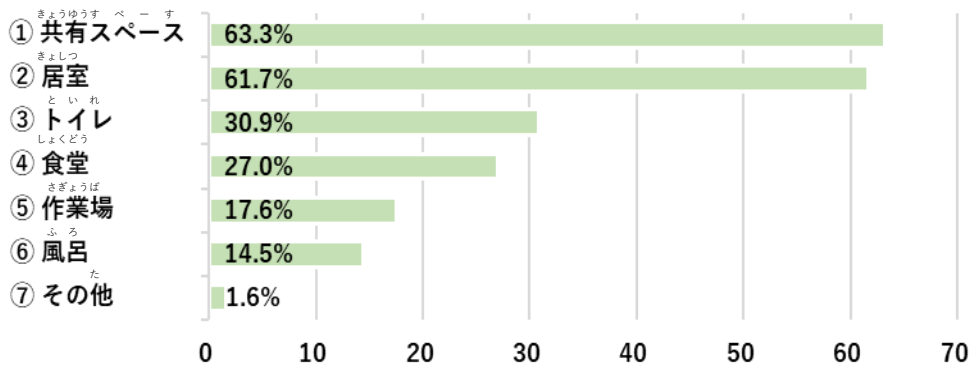
(n=256)



問4(4)オ 虐待行為等を行った場所【複数回答あり】

\* 虐待行為等を行った場所は、「① 共有スペース」が63.3%で最も多く、次いで「② 居室」が61.7%、「③ トイレ」が30.9%となっています。

(n=256)



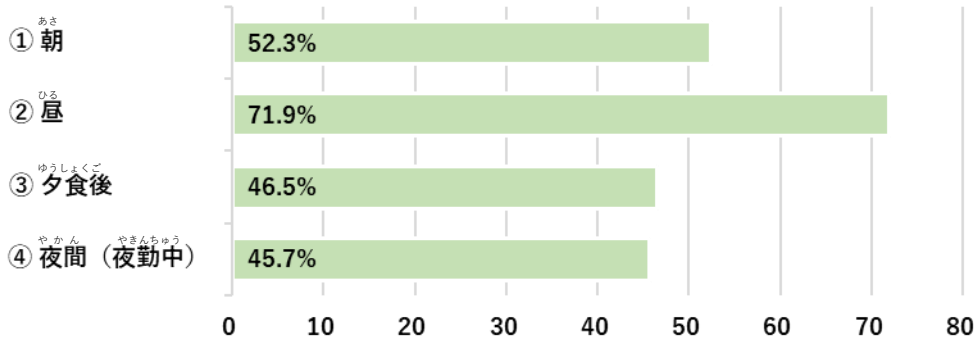
< 「その他」の主な内容 >

本人が暴れた場所
移動時

**問4(4)カ 虐待行為等を行った時間帯【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行った時間帯は、「② 昼」が71.9%で最も多く、次いで「① 朝」が52.3%、「③ 夕食後」が46.5%となっています。

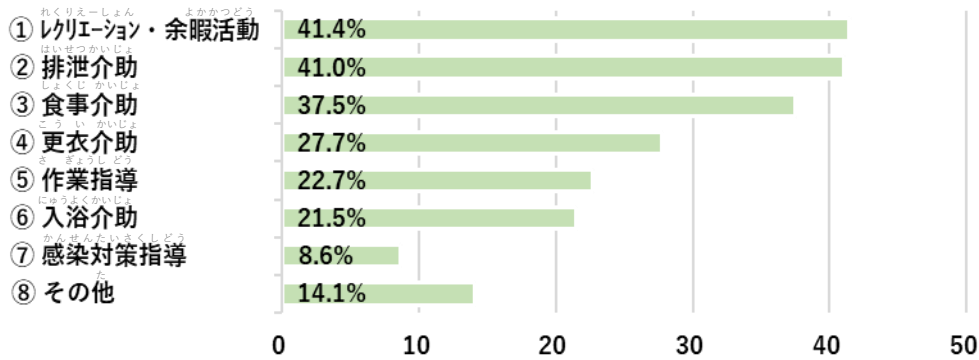
(n=256)



**問4(4)キ 虐待行為等を行った場面【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行った場面は、「① レクリエーション・余暇活動」が41.4%で最も多く、次いで「② 排泄介助」が41.0%、「③ 食事介助」が37.5%となっています。

(n=256)



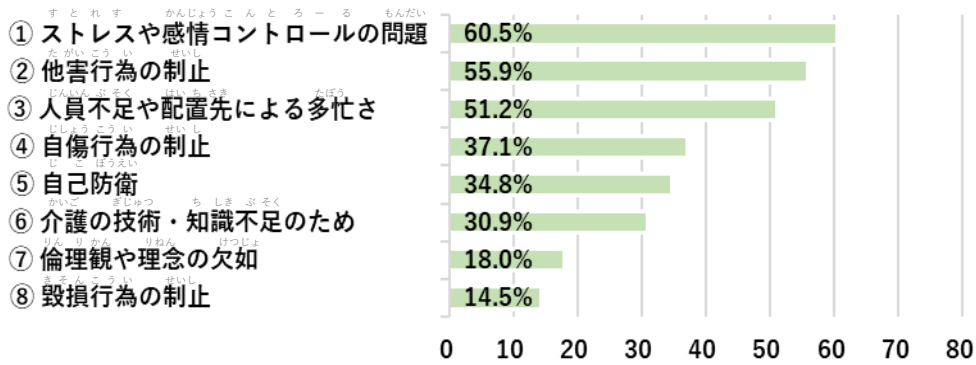
< 「その他」の主な内容 >

就寝時
移動時
受診時
歯磨き介助時
夜間
余暇時間
あば
他の利用者の支援中

問4(4)ク 虐待行為等を行ったきっかけ・要因【複数回答あり】

\* 虐待行為等を行ったきっかけ・要因は、「① ストレスや感情コントロールの問題」が60.5%で最も多く、次いで「② 他害行為の制止」が55.9%、「③ 人員不足や配置先による多忙さ」が51.2%となっています。

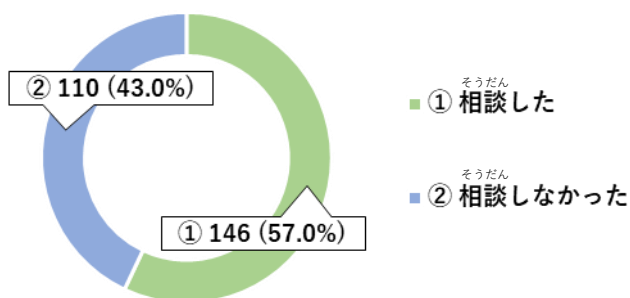
(n=256)



問4(4)ケ 虐待行為等を行った際の相談の有無

\* 虐待行為等を行った際の相談の有無は、「① 相談した」が57.0%となっており、「② 相談しなかった」は43.0%となっています。

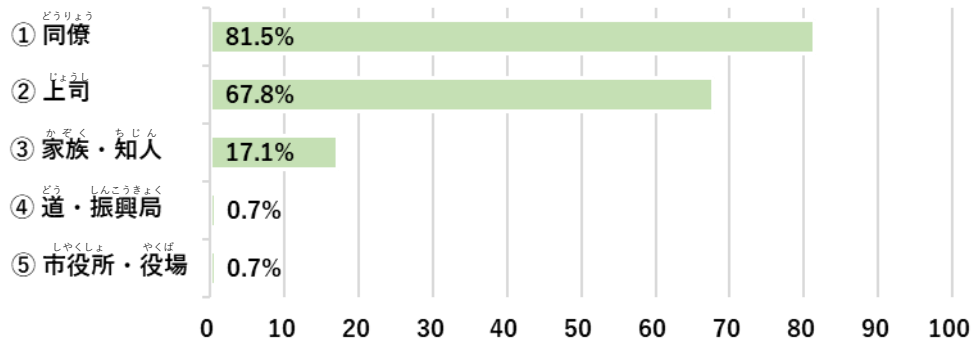
(n=256)



問4(4)コ 虐待行為等を行った際の相談先【複数回答あり】

\* 虐待行為等を行った際の相談先は、「① 同僚」が81.5%で最も多く、次いで「② 上司」が67.8%、「③ 家族・知人」が17.1%となっています。

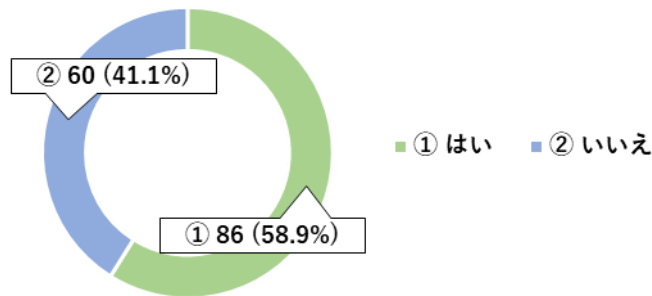
(n=146)



問4(4)サ 虐待行為等を行った際の相談による改善状況

\* 虐待行為等を行った際の相談による改善状況は、「① はい」が58.9%となっており、「② いいえ」は41.1%となっています。

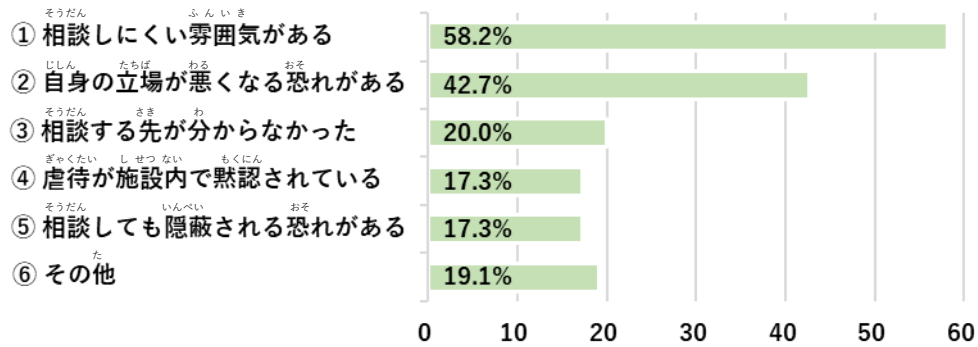
(n=146)



問4(4)シ 虐待行為等を行った際に相談しなかった理由【複数回答あり】

\* 虐待行為等を行った際に相談しなかった理由は、「① 相談しにくい雰囲気がある」が58.2%と最も多く、次いで「② 自身の立場が悪くなる恐れがある」が42.7%となっています。

(n=110)



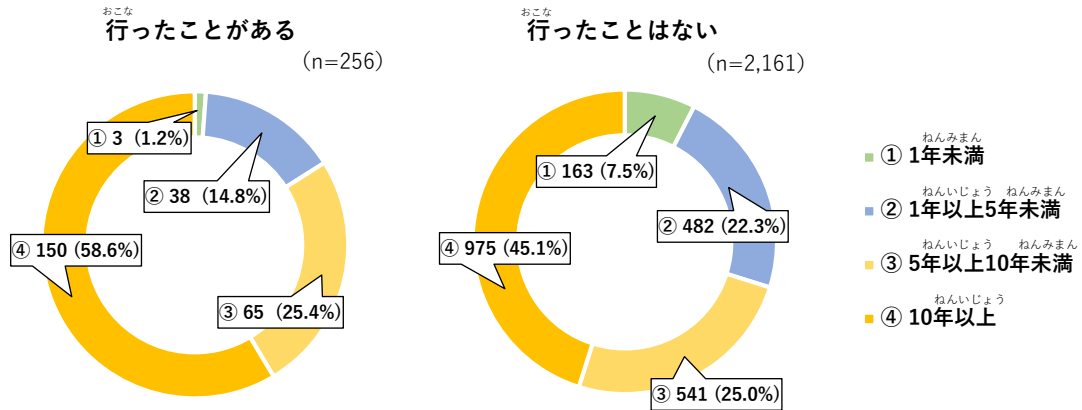
< 「その他」の主な内容 >

ほか 他にどうしようもなかったため
相談しても解決しないから
その時には不適切だとは思わなかった

ぎゃくたい おこな 虐待を行ったことがあると回答した職員 かいとう 傾向について

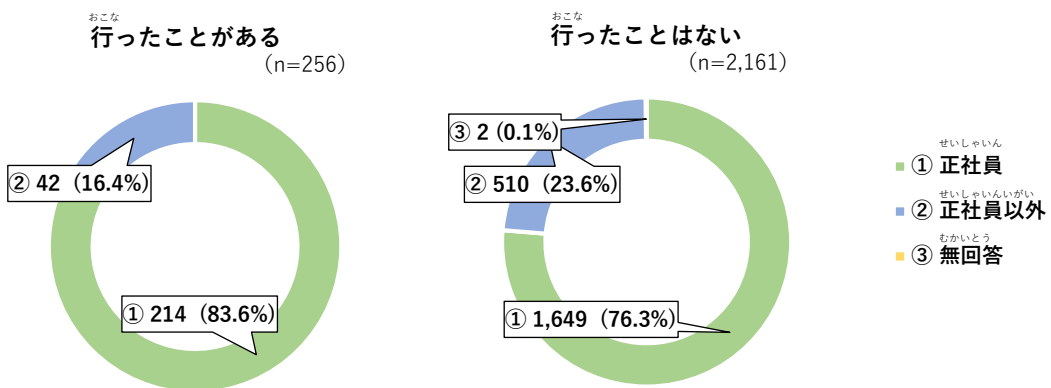
問1(1) 通算経験年数

\* 勤務年数が長い職員ほど虐待行為等を行ったことがある傾向にあります。



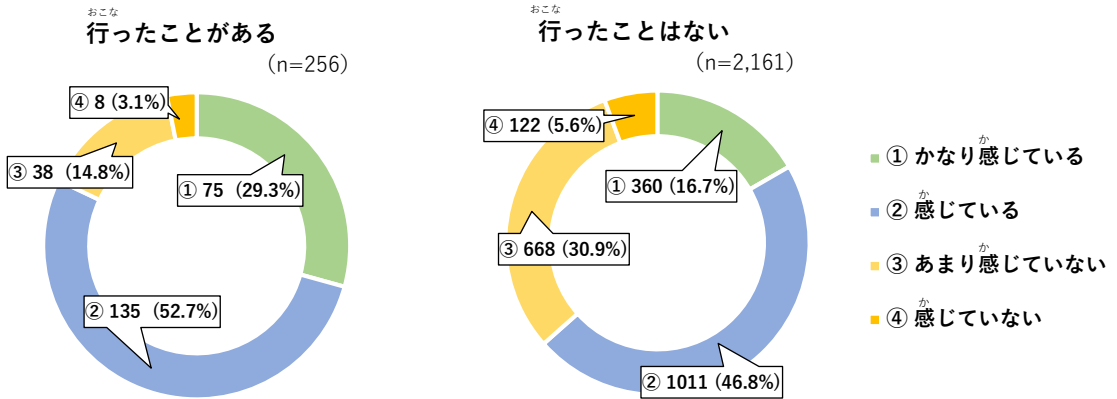
問1(2) 雇用形態

\* 正社員の方が虐待行為等を行った経験がある傾向にあります。



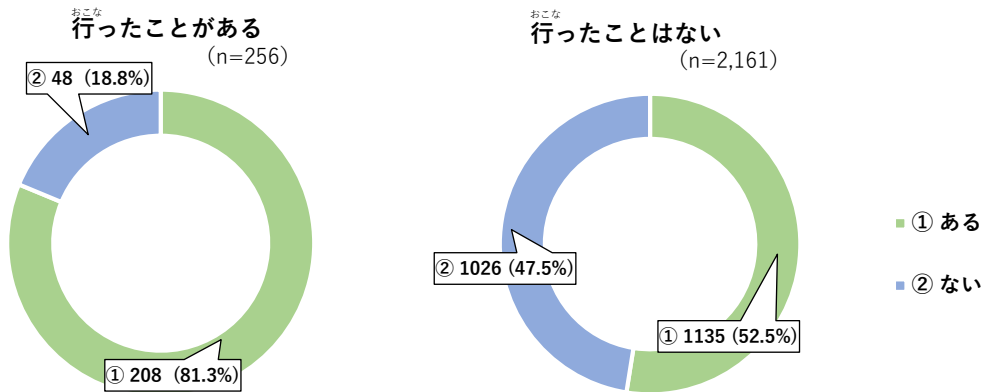
**問2(1) 業務負担**

\* 虐待行為等を行ったことがある職員は業務の負担感を強く感じている傾向にあります。



**問2(3) クライアントハラスメントの状況**

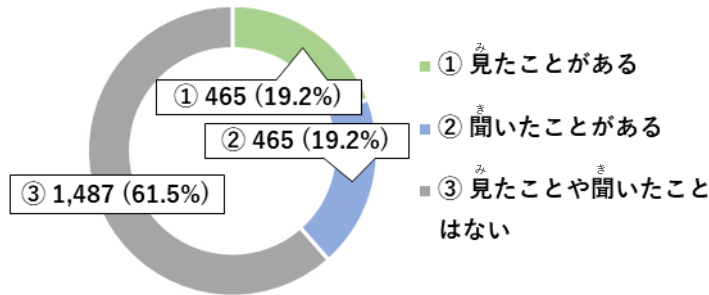
\* 虐待行為等を行ったことがある職員の多くがクライアントハラスメントを受けた経験があると回答している傾向にあります。



**問4(5) 虐待行為等を見聞きしたことの有無**

\* 虐待行為等を見聞きしたことの有無は、「① 見たことがある」、「② 聞いたことがある」が共に19.2%で、見聞きしたことがある割合は合計38.4%となっています。

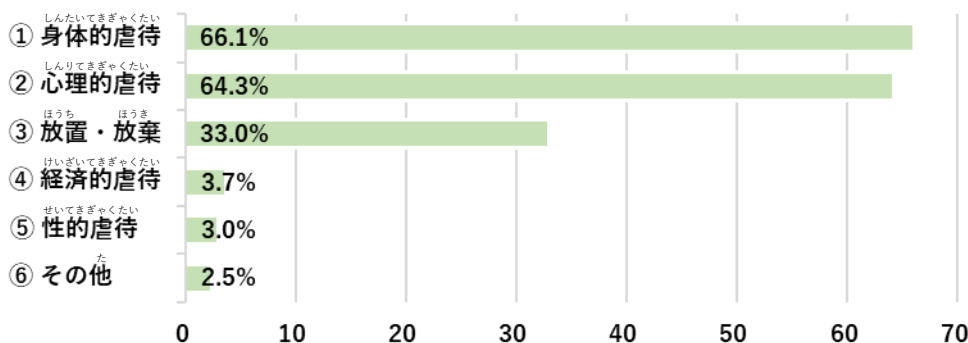
(n=2,417)



**問4(6)ア 見聞きした虐待行為等の内容【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等の内容は、「① 身体的虐待」が66.1%で最も多く、次いで「② 心理的虐待」が64.3%、「③ 放置・放棄」が33.0%となっています。

(n=930)



< 「その他」の主な内容 >

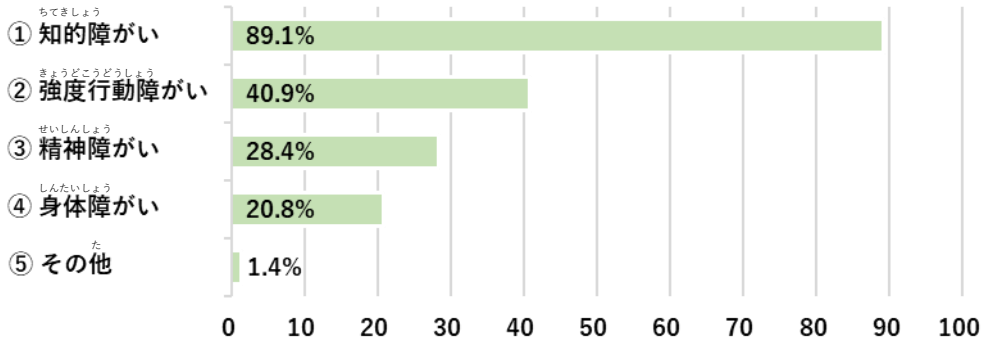
部屋に閉じ込めた
強い口調での声かけ
車椅子をスピードつけて押す
利用者の給食をとって食べる等
食事の提供でどうせ残すからと必要量あげない
誘導に困難な時押す、引く
不適切な名前の呼び方



**問4(6)イ 見聞きした虐待行為等の対象者の障がい種別【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等の対象者の障がい種別は、「① 知的障がい」が89.1%で最も多く、次いで「② 強度行動障がい」が40.9%となっています。

(n=930)



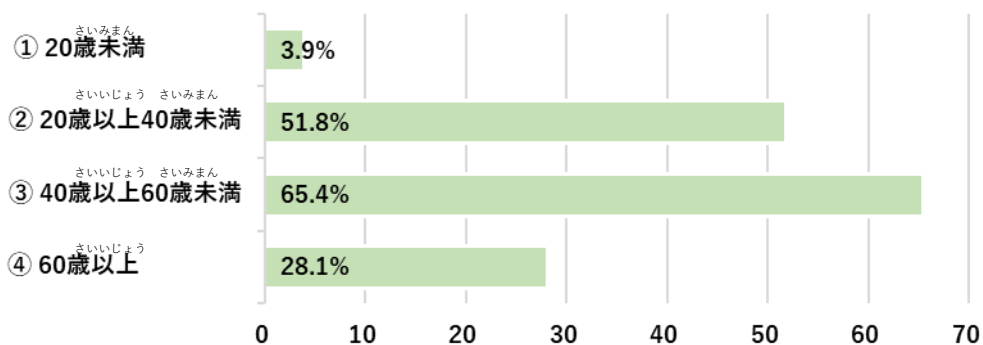
<「その他」の主な内容>

発達障がい
ダウン症
認知症

**問4(6)ウ 見聞きした虐待行為等の対象者の年齢【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等の対象者の年齢は、「③ 40歳以上60歳未満」が65.4%で最も多く、次いで「② 20歳以上40歳未満」が51.8%となっています。

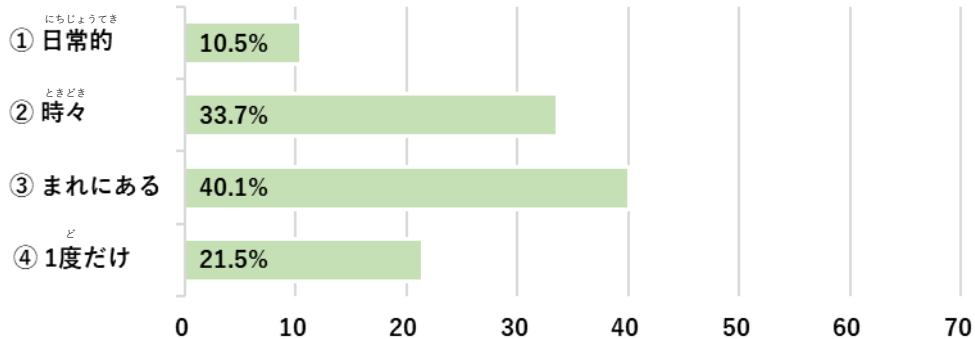
(n=930)



問4(6)エ 見聞きした虐待行為等の頻度【複数回答あり】

\* 見聞きした虐待行為等の頻度は、「③ まれにある」が40.1%で最も多く、次いで「② 時々」が33.7%、「④ 1度だけ」が21.5%となっています。

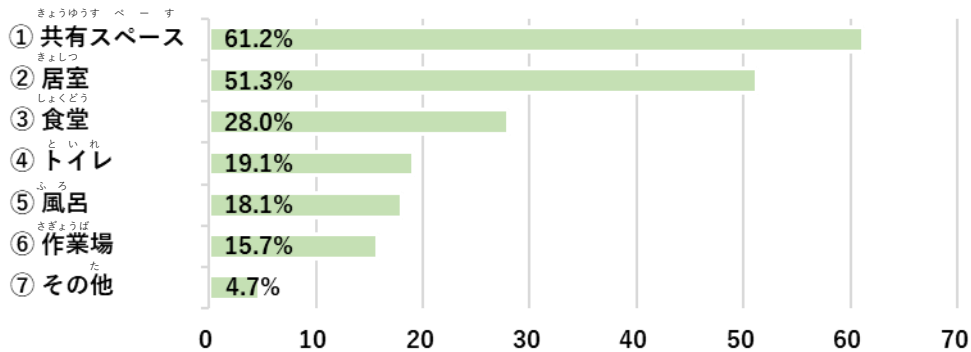
(n=930)



問4(6)オ 見聞きした虐待行為等の場所【複数回答あり】

\* 見聞きした虐待行為等の場所は、「① 共有スペース」が61.2%で最も多く、次いで「② 居室」が51.3%、「③ 食堂」が28.0%となっています。

(n=930)



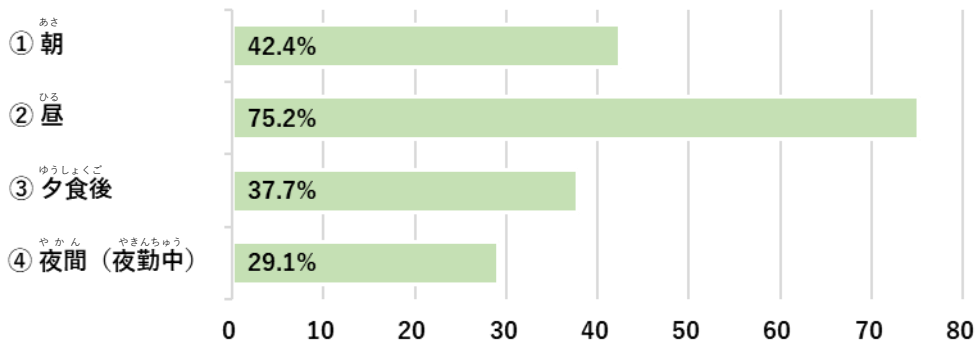
< 「その他」の主な内容 >

屋外
廊下
洗面所
洗濯室
玄関先
体育館
職員室
不明

問4(6)カ 見聞きした虐待行為等の時間帯【複数回答あり】

\* 見聞きした虐待行為等の時間帯は、「② 昼」が75.2%で最も多く、次いで「① 朝」が42.4%、「③ 夕食後」が37.7%となっています。

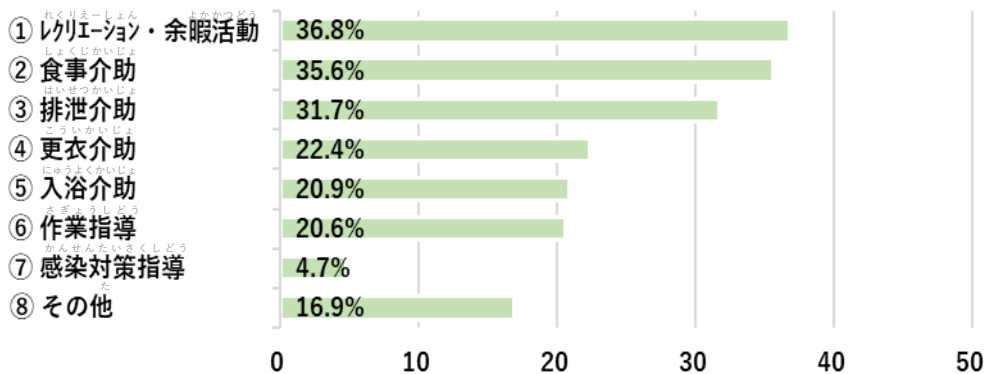
(n=930)



問4(6)キ 見聞きした虐待行為等の場面【複数回答あり】

\* 見聞きした虐待行為等の場面は、「① レクリエーション・余暇活動」が36.8%で最も多く、次いで「② 食事介助」が35.6%となっています。

(n=930)



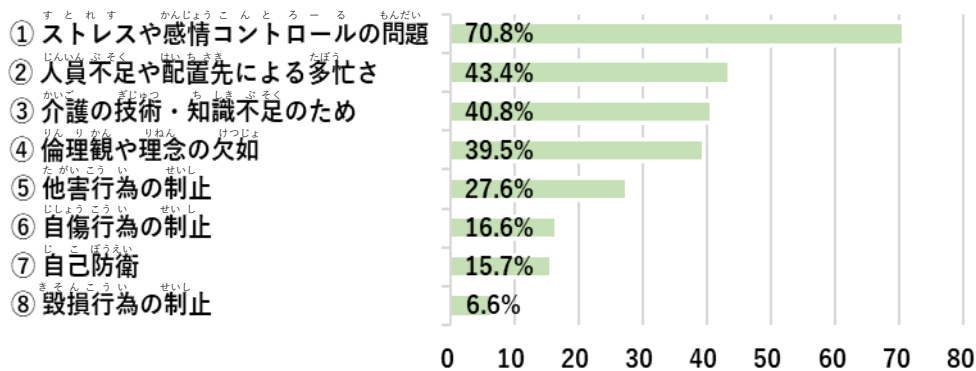
< 「その他」の主な内容 >

利用者が不穏になった場合
利用者間のトラブル時
就寝時
リハビリ中
移動介助中
服薬支援中
余暇時間中
歯磨き中

問4(6)ク 見聞きした虐待行為等のきっかけ・要因【複数回答あり】

\* 見聞きした虐待行為等のきっかけ・要因は「① ストレスや感情コントロールの問題」が70.8%で最も多くなっています。

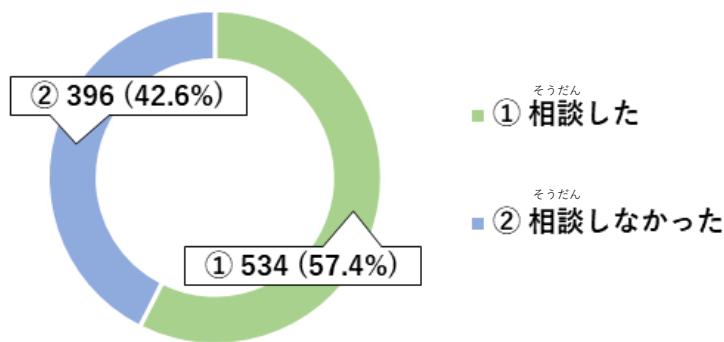
(n=930)



問4(6)ケ 見聞きした虐待行為等に関する相談の有無

\* 見聞きした虐待行為等に関する相談の有無は、「① 相談した」が57.4%となっており、「② 相談しなかった」は42.6%となっています。

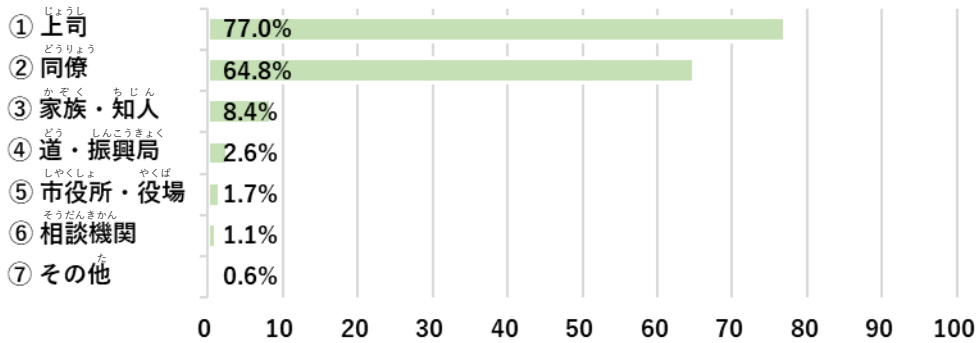
(n=930)



問4(6)コ 見聞きした虐待行為等の相談先【複数回答あり】

\* 見聞きした虐待行為等の相談先は、「① 上司」が77.0%で最も多く、次いで「② 同僚」が64.8%、「③ 家族・知人」が8.4%となっています。

(n=534)



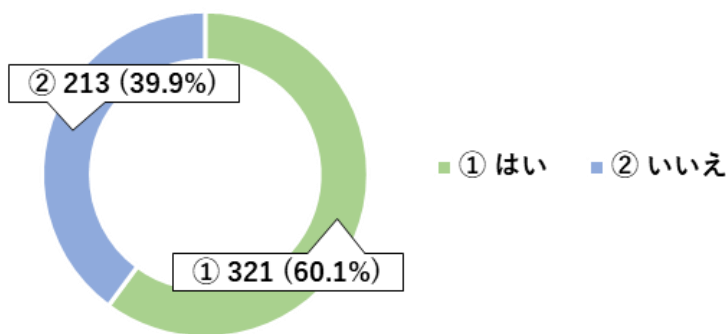
<「その他」の主な内容>

不適切と思われる行為を行った者に指摘し、支援方法を一緒に考えた  
福祉を専門としている友人

問4(6)サ 見聞きした虐待行為等の相談による改善状況

\* 見聞きした虐待行為等の相談による改善状況は、「① はい(改善した)」が60.1%となっており、「② いいえ(改善しなかった)」は39.9%となっています。

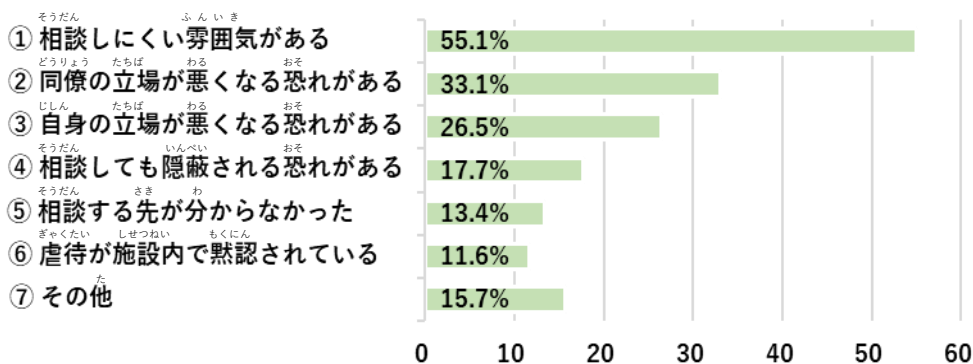
(n=534)



問4(6)シ 見聞きした虐待行為等を相談しなかった理由【複数回答あり】

\* 見聞きした虐待行為等を相談しなかった理由は、「① 相談しにくい雰囲気がある」が55.1%で最も多くなっています。

(n=396)



< 「その他」の主な内容 >

すでに解決済みのため
加害者が上司や先輩であったため
情報の真偽が定かではなかったため